

協議事項 1

地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について

1 評価の目的

本市では、令和 9 年度に行う予定の総合交通計画の改定に向け、本年度、国の地域公共交通確保維持改善事業による支援を受け、地域公共交通調査事業を実施しています。

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、協議会による事業の実施状況の確認、自己評価（一次評価）を行い、当該評価の結果を、1 月末までに、地方運輸局に報告するとともに、公表する必要があります。

なお、一次評価終了後に、地方運輸局等に設置される第三者評価委員会により二次評価が実施されます。

2 評価方法

事務局で評価シート（4 ページ）の案を作成しましたので、調査事業の概要資料（2～3 ページ）を御参照の上、修正すべき点等があれば御意見をお願いいたします。

評価は、A・B・C の 3 段階で記載し、計画どおり実施されなかった場合は、その事項及び理由を記載することとされております。

A：計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

B：計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。

C：計画に位置付けられたとおりに実施されなかった。

※ 事業が完了していないため、今後予定している内容を含め、3 月までの事業見込みにより、評価する必要があります。

地域の概要

1. 基礎データ

石巻市
 人口: 131,477人
 (R7.3.31現在・住民基本台帳)
 面積: 554.55平方キロメートル
 過疎地域等指定: 過疎(旧河北町、旧雄勝町、旧桃生町、旧北上町、旧牡鹿町)
 高齢化率: 35.43%(R7.3.31時点)
 市地域公共交通活性化協議会開催数: 3回
 (R7.4 ~ R8.1)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

①路線バス

運行: 株式会社ミヤコーバス
 路線: 12路線17系統

②コミュニティバス

運行: 石巻市
 路線: 12路線

【鉄道】

運行: 東日本旅客鉄道株式会社
 路線: 在来線3路線

【乗合タクシー】

運行: タクシー事業者13社
 エリア: 6地区

【航路】

運行: 網地島ライン株式会社、金華山航路事業協同組合
 路線: 2路線

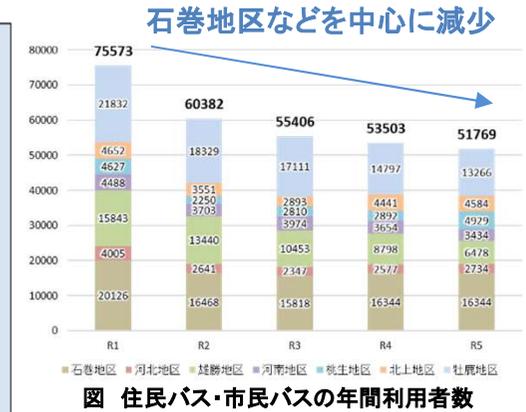
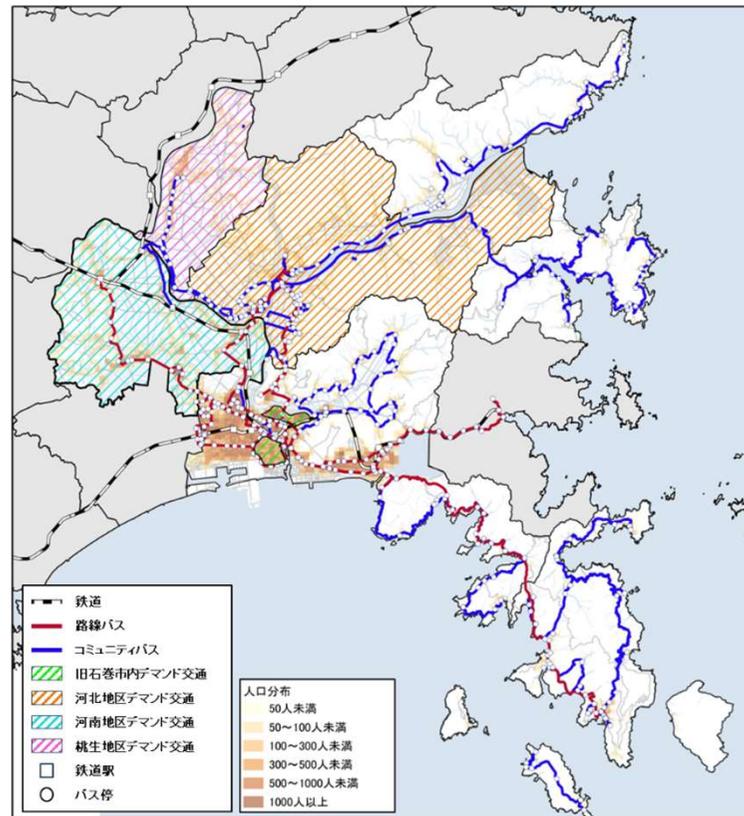
【その他】

スクールバス、レンタサイクル(2種)、カーシェアリング等

利用者の減少や運転手不足が相まって定時定路線の廃止・代替が相次ぎ、地域住民にとって必要不可欠な生活の足としてコミュニティバスや乗合タクシー等を運行しているが、持続可能な交通体系を構築するため、地域公共交通網の形成が必要となる。

3. 公共交通の問題点

- (1) 立地適正化計画等の街のコンパクト化の考えを踏まえた路線の検討が必要
- (2) 各地区の移動特性に応じた最適な移動手段の維持・確保が必要
- (3) 地区間の移動ニーズに対応するため、一定以上のサービス水準を適切に維持することが必要
- (4) 国庫補助落ちの危機に瀕する系統が複数存在し、今後の対応も含めた検討が必要
- (5) 仙台都市圏への通勤通学や通院などへの対応に向けた生活交通の確保が必要
- (6) 交通モード同士を有機的に連携させるシームレスな乗継環境の向上が必要
- (7) 交通事業者の運転士不足や経費増加を考慮した持続可能な体制の確立が必要
- (8) 民間企業や観光・教育・商業など多様な主体との連携により移動を支える仕組みづくりが必要
- (9) 公共交通利用を定着させるための長期的な利用促進が必要



石巻市地域公共交通活性化協議会

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

- (1) 地域特性及び公共交通・乗合交通手段の現況等の整理及び計画準備(一部完了)
- (2) 公共交通の実態把握(一部完了)

【今後予定している内容】

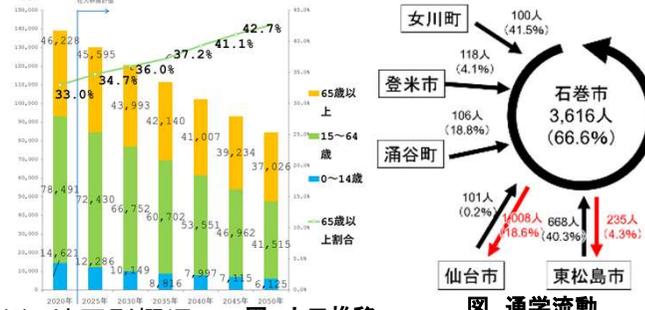
- (1) 地域特性及び公共交通・乗合交通手段の現況等の整理及び計画準備(一部)
- (2) 公共交通の実態把握(一部)
- (3) 住民の交通行動及びニーズ等の把握
- (4) 現計画の検証
- (5) 会議の開催・打合せ協議・報告書作成

調査結果概要

1. 地域特性の整理

(1) 人口動態・流動等

- ・ R6時点で人口132,626人、県平均よりも高齢化率が高い傾向にある(2025年時点で34.7pt)。



(2) 地区別概況

- ・ 桃生・河北・河南などでは定路線型モードの他、デマンド交通の運行により面的に移動手段を確保。
- ・ 牡鹿などでは定路線型モードが主に運行するが、事業者リソースの不足等により利便性の向上が困難。

(3) 観光振興

- ・ 観光入込客数は、2020年度以降にコロナ禍で急激に減少したものの、2024年度にはコロナ前の1.15倍まで回復。上品の郷来訪者数の増加等が大きく起因。

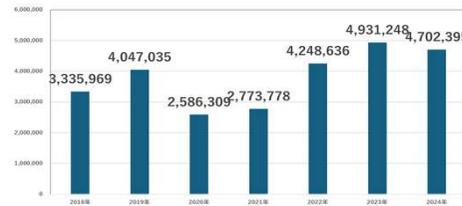


図 観光入込客数の推移

<課題等> (主要となる課題を抜粋)

- ・ 地域の移動ニーズや施設の立地状況が変化する中で「立地適正化計画のコンパクトシティ化と連動した路線の検討」が必要である。
- ・ 地域間幹線系統が低い平均乗車密度・輸送量にある中で「国庫補助落ちも視野に入れた生活交通手段の維持・確保」が必要である。

2. 公共交通の現況

(1) 公共交通の運行実績

- ・ **鉄道**：石巻駅利用者数はコロナ禍前の7割まで大きく減少。特に定期外利用者が回復に至らず。
- ・ **地域間幹線系統**：パターンダイヤ化等を実施し、利用者が増加した路線もある中、昨年度時点で7路線中4路線が輸送量15.0に満たず。市民生活上重要な路線である一方で国庫補助が受けられない場合の対応を検討する必要あり。
- ・ **住民バス・市民バス**：特に牡鹿地区や雄勝地区のサービスで利用者数が大幅に減少する傾向。その他地区でも住民バス・市民バス利用が全体的に少ない状況。直近で定時定路線型のサービスからデマンドへの再編を行った地区もあるため、住民周知や見直しへ向けた検討が今後必要。



図 石巻駅の1日平均乗車人員

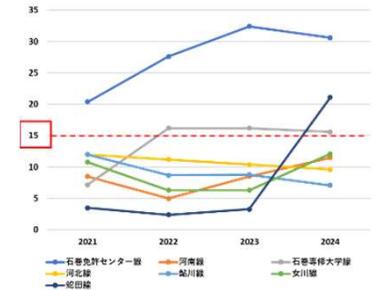


図 地域間幹線系統の輸送量推移

(2) 公共交通カバー率(鉄道駅:500m バス停:300m)

- ・ 先述のとおり桃生・河北・河南ではデマンド交通が全域を運行することからカバー率は100%である。
- ・ 一方、市全体では公共交通カバー率は約81%となっており特に旧石巻市の区域内では定路線型運行がメインの中で沿線から外れる地域が存在。

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 1月下旬 会議開催
- 12月上旬~2月中旬 現況整理・住民の交通行動及びニーズ等の把握
会議の開催(事業者協議)

【地域の交通の目指す姿】

基本目標の実現に向けた事業・プロジェクトを庁内・関係機関と協議・検討し、具体的な課題解決方法の提示、地域公共交通網の形成・再編によるまちづくりへの貢献を行う。

その上で、地域公共交通確保維持改善事業の活用を検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月 日

協議会名：石巻市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <p>(1) 地域特性及び公共交通・乗合交通手段の現況等の整理及び計画準備</p> <p>(2) 公共交通の利用実態等の整理</p> <p>(3) 住民の交通行動及びニーズ等の把握</p> <p>(4) 現計画の検証</p> <p>(5) 会議の開催・打合せ協議・報告書作成</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1) 人口・世帯の状況、地勢、移動状況、施設分布の状況、公共交通やその他の移動サービスの運行状況、利用実態、財政状況の整理を行った。市街地及び各地域内における公共交通の利便性、市街地へのアクセス性の分析も実施する。</p> <p>(2) ICカードデータの利用実績を基に路線バスの利用状況の整理を実施した。住民バス等の利用状況についても整理する。</p> <p>(3) 来年度実施予定の市民アンケート及び高校生アンケートの設計等を実施する。</p> <p>(4) 現計画に記載する具体施策等の達成状況について、実施できなかった理由を含め整理する。</p> <p>(5) 交通事業者との会議を実施する。</p>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>今回の事業で実施した調査分析等によって、面的な市内の公共交通の人口カバー率が明らかとなった。引き続き時間的なカバー率や市街地へのアクセス性についての分析・検証を行い計画改定に向けて課題（仮説）の整理を行う予定である。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>【補助対象事業名】 石巻市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】 ①補助対象事業者等に記載のとおり</p> <p>【実施時期】 R7.9.22～R8.3.31</p> <p>【計画策定方針】</p> <p>(1) 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」実現に向け、公共交通政策として対応すべき役割・取組等を見据えた検討を実施</p> <p>(2) 現計画に示す施策の効果・課題を定量的・定性的に分析するとともに、各種データ等の整理を踏まえて、本市の「強み・弱み」を再整理の上で、課題（仮説）の整理を実施</p>
<p>【二次評価】</p>		

地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について

(1) 地域特性及び公共交通・乗合交通手段の現況等の整理及び計画準備

人口・世帯の状況	完了
地勢	完了
移動状況	完了
施設分布状況	完了
公共交通の運行状況	完了
その他の移動サービス	完了
公共交通の利用実態	完了
財政状況	完了
市街地及び各地域内の利便性の分析・検証	
市街地へのアクセス性の分析・検証	

(2) 公共交通の実態把握

路線バスの整理	完了
住民バス等の整理	

(3) 住民の交通行動及びニーズ等の把握

市民アンケート調査 設計	
高校生アンケート調査 設計	
交通事業者ヒアリング調査	
交通事業者アンケート調査	
庁内ヒアリング調査	

(4) 現計画の検証

達成状況の整理	
地域公共交通の課題（仮説）の整理	

(5) 会議の開催・打合せ協議・報告書作成

交通事業者ワーキング 2回	
---------------	--